

| 時代   | 西暦                | 和暦    | 主な出来事                                                                                 |
|------|-------------------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 古墳時代 | 5世紀後半             |       | 荒 子:荒砥荒子遺跡から堀と柵を伴う方形区画された遺構は豪族の居館跡と推定されている。<br><br>今 井:今井神社古墳が築造される(昭和56年市指定史跡)。      |
|      | 5世紀末から6世紀初頭       |       | この頃に毛野国は上毛野国(群馬県)と下毛野国(栃木県)に分かれた。都に近いほうが上の国で遠いほうが下の国になった。                             |
|      | 6世紀前半             |       | 西大室:前二子古墳が築造される(昭和2年国指定史跡)。<br>上毛野君の子孫が代々大室の地に住み、国造や国司として二宮赤城神の祭祀をしていたと推定される。         |
|      | 6世紀中盤             |       | 西大室:中二子古墳が築造される(昭和2年国指定史跡)。<br>下大屋:大黒塚古墳が築造される。                                       |
|      | 6世紀後半             |       | 西大室:伊勢山古墳が築造される(墳丘に字地田栗にあった五社稻荷神社が幕末に建立された)。<br><br>西大室:後二子古墳が築造される(昭和2年国指定史跡)。       |
|      | 7世紀前後             |       | 富 田:御稲山古墳が築造された。                                                                      |
|      | 7世紀中盤             |       | この頃小規模な群集墳が盛んに造られる。<br>荒 子:荒子杉山古墳が築造された(平成22年市指定史跡)。                                  |
|      | 7世紀後半             |       | 天智朝から天武朝の頃に東山道など七道が設置された(東海道・北陸道・山陰道・山陽道・南海道・西海道)。                                    |
|      | 7世紀末              |       | 西大室:この頃に荒砥富士山古墳が築造されたと考察されている(平成9年県指定史跡)。                                             |
|      | .....             | ..... | .....                                                                                 |
| 奈良時代 | <8世紀><br>713      | 和銅6年  | ※710年～794年まで<br>元明天皇の「二字佳字詔(にじかじのみことのり)」により諸国の名は二字とし、必ず佳字を用いよ」とされ、上毛野国は上野国(群馬県)となった。  |
| 平安時代 | <9世紀><br>827      | 天長4年  | ※794年から1185年まで<br>泉 沢:天長山円明寺が慈覚大師によって開山されたとの伝承がある。                                    |
|      | 839               | 承和6年  | 二宮赤城神は従五位下に神叙され『続日本後記』に記されている。                                                        |
|      | 867               | 貞観9年  | 二之宮:二宮赤城神社は正五位下に叙され神名が『六国史』に記される。貞観11年(869)に正五位上、貞観16年(874)に従四位下、元慶4年(880)に従四位上に叙された。 |
|      | <10世紀><br>901～923 | 延喜年中  | 二之宮:無量壽寺の開基の一説として上野国勢多郡二之宮村誌には「当時開基ハ延喜年中ト旧シク言伝フ」と記される。                                |
|      | 927               | 延長5年  | 二之宮:二宮赤城神社、上野国の二宮となり大社として『延喜式神名帳』に記載され明神の格式が与えられる。                                    |
|      | 939               | 天慶2年  | 田原(藤原)藤太秀郷、二宮大明神へ平将門追討の戦勝祈願を行い、御神木の田原杉を植えたとされている。〈里伝〉                                 |

| 時代   | 西暦             | 和暦    | 主な出来事                                                                                                                                                                                                                  |
|------|----------------|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 鎌倉時代 | 940            | 天慶3年  | 平将門の天慶(てんぎょう)の乱を治めた藤原秀郷は下野守に任じられた。その末裔は赤城南麓に勢力を広げ、大胡氏・大室氏・深栖(ふかづ)氏・赤堀氏・山上氏らが繁栄した。大室荘も成立し大室氏はその拠点として大室元城を築城した。大室荘は大室・大屋・荒子・舞台・多田・飯土井・二之宮の七郷である。                                                                         |
|      | 947            | 天曆1年  | 今井:大國主神を奉る赤城神社(今井神社)が今井沼北西の字三木堂へ勧請される。〈荒砥郷土史〉                                                                                                                                                                          |
|      | <11世紀><br>1028 | 長元1年  | 二之宮:「正一位赤城明神社」と『上野国交代実帳』に記されている。                                                                                                                                                                                       |
|      | 1049           | 永承4年  | 二之宮:第70代後冷泉天皇が全国55社の勅願所を定める。二之宮の二宮大明神もその1社に選ばれ仏舍利1粒を納められる。<br>〈元亨釈書等の資料〉この頃、別当神宮寺玉蔵院が創建されたと推定される。                                                                                                                      |
|      | <12世紀><br>1108 | 天仁1年  | 天仁元年(1108)のAS-B層(浅間山の火山灰)により、女堀の開削は12世紀中期以降であることが昭和54年(1979)の発掘調査で判明した。                                                                                                                                                |
|      | 1183           | 寿永2年  | 女堀開削の施工主体者の藤原姓足利氏同族連合が野木宮合戦で敗戦したのが掘削中断の要因とも考察されている。                                                                                                                                                                    |
|      | .....          | ..... | .....                                                                                                                                                                                                                  |
|      | 1193           | 建久4年  | ※1185年から1333年まで<br>鎌倉に日本最初の武家政権である幕府を開いた征夷大將軍源頼朝が、浅間三原野荘から那須野への巻狩りの途次、二之宮村の二宮大明神へ参拝祈願した。社殿造営のため神領百石を寄進し、上野国守護職安達氏に命じて岡部忠成を奉行に任じ修復させた。<br>その後、二之宮は源氏の氏神鶴岡八幡宮の分社を二宮大明神境内に勧請し、毎年8月15日を祭日として東西の参道で流鏑馬(やぶさめ)が行われ、明治末年まで続いた。 |
|      | <13世紀><br>1215 | 建保3年  | 二之宮:別当神宮寺玉蔵院と無量壽寺の本寺が野州(栃木県)小俣の鶏足寺慈猛和尚によって中興される。                                                                                                                                                                       |
|      | 1221           | 承久3年  | 大屋秀康は承久の乱で後鳥羽院方の大将となり奮戦するも敗れ、大屋氏は滅亡する。                                                                                                                                                                                 |
|      | 1226           | 嘉禄2年  | 二之宮:源祐法印によって中島山慈照院東福寺が開基創建される。                                                                                                                                                                                         |
|      | 1279           | 弘安2年  | 二之宮:二宮赤城神社の神宮寺である玉蔵院を中興した円喜上人が入寂(にゅうじゃく)する。                                                                                                                                                                            |
|      | 不詳             |       | 二之宮:この頃二之宮の地区名が定着されたものと考えられる。当時、二之宮の地域は大室荘(庄)に属さず、平安時代以来の神領支配があったものと推定される。                                                                                                                                             |
| 室町時代 | <14世紀><br>不詳   |       | ※1336年から1573年まで<br>西大室:観昌寺に大室太郎の宝塔(赤城塔)と伝承される南北朝時代(1336～1392)の塔は、平成5年市指定重要文化財に登録された。                                                                                                                                   |
|      | 不詳             |       | 二之宮:二宮赤城神社の宝塔(赤城塔)は南北朝時代の造立と推定され、昭和58年市指定重要文化財に登録された。                                                                                                                                                                  |
|      | 不詳             |       | 小屋原:石像劣切薬師坐像が造立された(1336年以後と推定)。                                                                                                                                                                                        |
|      | 不詳             |       | 筑井:安養院境内の石仏「白粉薬師」が造立された(推定)。                                                                                                                                                                                           |
|      | 1363           | 貞治2年  | 二之宮:磯部家所蔵の板碑は、北朝年号が刻まれ阿弥陀如来の種字がある。                                                                                                                                                                                     |

| 時代   | 西暦             | 和暦        | 主な出来事                                                                                                               |
|------|----------------|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 戦国時代 | 1371           | 応安4年      | 荒 口:観音寺に衆生三界六道の苦しみから救えるよう六地藏幢が造立される。                                                                                |
|      | 1390<br><15世紀> | 明德年間      | 二之宮:降舜上人が修密山来迎院無量壽寺を中興する。                                                                                           |
|      | 1453           | 享徳2年      | 二之宮:二宮赤城神社に神社再興のため奉納された舞楽面で「納曽利面」が奉納された。納曽利面は雅楽の演奏により舞うもので、面の裏に神社名と奉納者が記され、昭和44年県指定重要文化財に登録された。                     |
|      | 1455           | 享徳4年      | 二之宮:越後の上杉房定は古河公方・足利成氏が抑えていた東上州の二之宮に攻め込んできて宮下西館に陣を張った。足利方として新土塚城主の真藤備前守を迎え撃つべく出陣し、両軍は中島の島原で激突し真藤軍は敗北したという。(『資料綜覧』より) |
|      | .....          | .....     | .....                                                                                                               |
|      | 1469～1487      | 文明年間      | ※1467年から1573年まで<br>飯土井:戦国の武将赤石左衛門尉は宮城村の鼻毛石より飯土井へ来て赤石城を築造した。                                                         |
|      | 1474           | 文明6年      | 二之宮:関口家所蔵の阿弥陀如来の種字が刻まれている板碑がある。                                                                                     |
|      | 1476           | 文明8年      | 関東管領上杉家の家務職を代々勤めていた白井城(旧子持村)の長尾氏はその職を惣社(総社)長尾氏に奪われ、上杉家に対する不信感に謀反しその転戦は30数年に及んだ。                                     |
|      | 1484           | 文明16年     | 西大室:木村家に「逆修念仏一結衆」と刻まれた阿弥陀石堂があり、生前に仏事を修し冥福を祈るための講が行われていた。                                                            |
|      | 1485           | 文明17年     | 二之宮:宮本の磯部家に観音石堂が造立される。                                                                                              |
|      | 1486           | 文明18.6.26 | 二之宮:6月26日、二宮赤城神社境内に三界(過去・現在・未来)、生霊・畜類など冥福のため勧進僧・頭白上人が木造三重塔を造立した。現在も塔跡の心礎が存在している。                                    |
|      |                |           | 今 井:この頃に旧今井の館を改修し、斎藤氏が頼(寄)居城を築城する。後に大胡氏に属して支城となる。                                                                   |
|      | 1489           | 長享3年      | 泉 沢:阿弥陀如来坐像が阿弥陀堂(現公民館)へ造立された。                                                                                       |
|      | 1490           | 延徳2年      | 飯土井:赤石城主の赤石道林により輪廻塔が造立された。応仁の乱の後に世は乱れ、衆生が三界・六道で苦しむことがないよう願ってのことであった。                                                |
|      | 1491           | 延徳3年      | 荒 口:観音寺に衆生が三界(欲界・色界・無色界)、六道(地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天)に迷うことがないよう輪廻幢を造立した。                                                    |
|      | 1494<br><16世紀> | 明応3年      | 二之宮:降舜上人が修密山来迎院無量壽寺を開基する。                                                                                           |
|      | 1520           | 永正17年     | 西大室:長尾景春の嫡男景英は父の謀反により大室へ隠居し逆修塔を造立し、現在は「めいがん様」と呼ばれている。                                                               |
|      | 1521           | 大永年間      | 飯土井:赤石左衛門尉が赤石城を伊勢崎に移し、その地を赤石郷と呼ぶようになる。                                                                              |
|      | 1559           | 永禄2年      | 二之宮:二宮大明神が上杉勢の兵火により2～3の社宝を残しただけで灰燼に帰す。                                                                              |

| 時代     | 西暦     | 和暦    | 主な出来事                                                                                                                                |
|--------|--------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 安土桃山時代 | 1560   | 永禄年間  | 飯土井:稲荷神社(現井出上神社)が北条氏の兵火に遭い記録類が焼失した。〈荒砥郷土史〉                                                                                           |
|        | 1560   | 永禄3年  | 二之宮:越後の上杉謙信は小田原の北条氏攻めに当たり、北条方の二之宮の新土塚城を猛攻し、これを落城させたと伝えられる。                                                                           |
|        | .....  | ..... | .....                                                                                                                                |
|        | 1571   | 元亀2年  | ※1573年から1603年まで<br>二之宮:大胡城主大胡常陸介高繁が二宮大明神神主の六谷田讃岐別当と玉蔵院へ御供用米を寄進した。(以後代々寄進)                                                            |
|        | 1576   | 天正4年  | 二之宮:北条氏政の軍勢が二宮大明神の神域に侵入し、社殿などがことごとく打ち破られた(『年代記』)。                                                                                    |
|        | 1585   | 天正13年 | 西大室:大室城は白井城の長尾氏の支城として築かれたが、天正13年長尾政景は城代の牧弾正に謀反ありとして誅した。                                                                              |
|        | 1590   | 天正18年 | 豊臣秀吉の小田原攻めによる北条氏の没落とともに、大室城は廃城になる。                                                                                                   |
|        | 1591   | 天正19年 | 二之宮:大胡城主牧野右馬允康成は、戦乱により衰退していた二宮大明神の社殿を再建した。                                                                                           |
|        | 1592   | 天正20年 | 大胡城の徳川譜代牧野右馬允康成は、大胡城守護のため二宮大明神の神宮寺「玉蔵院」を二ノ丸へ引き寺した。<br><br>この頃、牧野氏によって大胡東領・大胡西領の領域ができ、荒砥地区は西領に属した。                                    |
|        | 1597   | 慶長2年  | 飯土井:大胡西領飯土井村の水帳が作られる。                                                                                                                |
|        | 1597   | 慶長2年  | 西大室:湯清寺は大胡城主牧野康成の命により大胡の曹洞宗長善寺大通祖参禅師により開山される。                                                                                        |
| 江戸時代   | .....  | ..... | .....                                                                                                                                |
|        | 〈江戸前期〉 |       | ※1603年から1868年まで                                                                                                                      |
|        | 1611   | 慶長16年 | 二之宮:二宮大明神の神主六谷田左衛門尉次が吉田神祇管領家から神主の許状を受ける。                                                                                             |
|        | 1615   | 慶長20年 | 二之宮:大胡城主二代牧野駿河守忠成は大坂夏の陣に際し二宮大明神へ戦勝祈願し、凱旋後に絵馬二面を奉納した。                                                                                 |
|        | 1617   | 元和3年頃 | 二之宮:元和2年(1616)大胡城主牧野氏が越後長岡へ転封後、大胡領は厩橋領となり酒井雅楽頭忠世により絵馬二面が奉納されている。                                                                     |
|        | 1623   | 元和9年  | 二之宮:二宮大明神にて梵鐘が寄進された。                                                                                                                 |
|        | 1625   | 寛永2年  | 荒口:四国の讃岐より高僧が来て茅庵(ぼうあん)を結び観音坊と号して住い、後の観音寺になる。明治期に無住となり昭和42年に二之宮の無量寿寺へ合併された。                                                          |
|        | 1643   | 寛永20年 | 西大室:西大室村の小峰伝七郎吉茂は武州から移住し、一伝流の皆伝を受け、更に自心流を創始した子の佐五右衛門は医を生業とした。佐五右衛門は大室村の水不足を憂い能満沼・乾谷沼・横俵沼・五料沼など堤工事を私費を投じ実践した。昭和58年に「報恩之碑」が五料沼畔に建立された。 |
|        | 1661   | 寛文1年  | 新井:新井村を皮切りに前橋藩による寛文の総検地が始まる。(寛文10年まで領内各村の検地を行う)                                                                                      |

| 時代 | 西暦             | 和暦    | 主な出来事                                                                                                                                  |
|----|----------------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | 1663<br>〈江戸中期〉 | 寛文3年  | 飯土井:飯土井村検地控帳が現存する。<br>〈前橋市史飯土井町有文書〉                                                                                                    |
|    | 1681           | 天和年中  | 二之宮:この頃、浄土宗無量壽寺が真言宗に改宗した。江戸護持院(後ち護国寺)の降光僧正は関東一円に弟子たちを巡らせ、真言宗に改宗すべく活動させていた。<br><br>※この頃、無量壽寺や慈照院が二宮大明神と関係を深くし、時に別当寺寺掌を代務することもあったと推定される。 |
|    | 1684           | 貞享1年  | 西大室:『前橋風土記』に西大室北宿の筆巧橋は東神沢川の水害対策により架けられたと記されている。貞享年間以前に架けられ、現在の筆巧橋は大室城址の二ノ丸に保存されている。                                                    |
|    | 1687           | 貞享4年  | 新 井:神沢川の新井橋の袂(たもと)に庚申塔が造立された。                                                                                                          |
|    | 1688           | 元禄1年  | 二之宮:無量壽寺が賢光法師により中興開山する(上野国二之宮村誌)。                                                                                                      |
|    | 1700           | 元禄13年 | 二之宮:二宮神社境内に安楽祈願塔が造立された。                                                                                                                |
|    | 1702           | 元禄15年 | 大室村と増田村は寛文9年(1669)から元禄15年(1702)の間に東大室村・西大室村、上増田村・下増田村に分村された。それは村の石高と所領支配の基本資料となる『上野国郷帳』に記されている。                                        |
|    | 1706           | 宝永3年  | 八坂用水は伊勢崎藩領の用水不足対策のために筑井の桃ノ木川から水を揚げるために堀を掘削した。神沢川を渡河する八坂桶の管理が困難になり、昭和2年に二之宮から新井へ新堀を掘削して現在に至る。                                           |
|    | 1707           | 宝永4年  | 富 田:穴薬師堂の墓地に薬師如来が造立された。                                                                                                                |
|    | 1716           | 享保年間  | 二之宮:二宮大明神では、以前の神楽殿の棟札によりそれ以前から神楽が奉納されていたようである。                                                                                         |
|    | 1717           | 享保2年  | 二之宮:慈照院が山号を中島山から大悲山に変更された。                                                                                                             |
|    | 1727           | 享保12年 | 二之宮:無量壽寺に石像大日如来坐像が造立された。                                                                                                               |
|    | 1727           | 享保12年 | 飯土井:『飯土井村寺社帳』に「鎮守稻荷大明神二門茅葺き社殿」と屋根替えの記述がある。                                                                                             |
|    | 1734           | 享保19年 | 小屋原:泉蔵寺七世公稟(こうりん)は妙法蓮華經を一千部読誦(どくじゅ)し、衆生が現世と後世を安寧(あんねい)に過ごせ、併せて五穀豊穡であるよう祈願し供養塔を長谷戸の男切(なたぎり)薬師堂に建立した。                                    |
|    | 1740           | 天文5年  | 二之宮:二宮大明神の千手観音堂が慈照院43世観応和尚の代に再建される。                                                                                                    |
|    | 1749           | 寛延2年  | 新 井:百石屋敷の木暮正重は前橋城主酒井忠恭に仕えていたが、前橋藩は姫路へ転封となり木暮家は空屋敷となった。                                                                                 |
|    | 1758           | 宝暦8年  | 飯土井:石綿儀八富章剣士(農民)は、鼻毛石の北爪道場(神道流・荒木流一伝流)剣道師範の免許皆伝を受ける。後に前橋藩の剣道指南役に登用される。                                                                 |
|    | 1760           | 宝暦10年 | 西大室:北宿の筆巧橋脇に橋の供養塔が造立されている。洪水により木橋は再三流されてしまうので、信州高遠の石工により石橋が架けられた。その後、大事な橋が流されないよう念仏講の人達によって供養塔が建てられた。                                  |

| 時代     | 西暦   | 和暦    | 主な出来事                                                                                     |
|--------|------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
|        | 1762 | 宝暦12年 | 二之宮:二宮大明神の神主六谷田讃岐守によって当社御礼無尽が行われる。この頃、二之宮村の上・下組では毎年交替で狂言(式三番叟)を盛大に行っている。                  |
|        | 1763 | 宝暦13年 | 下大屋:産泰神社本殿に神主小糸豊前守藤原忠安51歳建立と棟札に記されている。(大工棟梁は信州諏訪の大隈流矢崎久右衛門であることも棟札により判明)                  |
|        | 1763 | 宝暦13年 | 西大室:北宿に青面金剛塔(庚申信仰の天尊)が造立された。                                                              |
|        | 1765 | 明和2年  | 東大室:多田の観音堂に石造観音菩薩が造立された。                                                                  |
|        | 1766 | 明和3年  | 東大室:最善寺に宝篋印塔が信州高遠の石工により造立された。                                                             |
|        | 1768 | 明和5年  | 二之宮、新井、飯土井の各村は天領地となり代官が知行する。(幕府代官は前沢藤十郎)                                                  |
|        | 1768 | 明和5年  | 二之宮:二宮明神別当玉蔵院の御供米打ち切り騒動起こる。上申嘆願のため玉蔵院は文書を作成し公儀へ提出(控写書が現存)。翌年3月二之宮村は前橋藩へ帰領し、7月御供米の嘆願が成就する。 |
|        | 1768 | 明和5年  | 二之宮:3月29日に代官前沢藤十郎宛の二宮大明神境内地図が作成された。(三重塔の礎石跡の記載あり)                                         |
|        | 1768 | 明和5年  | 上増田:近戸神社境内(もとは道端)にある念仏供養塔が明治になり神社へ移された。                                                   |
|        | 1769 | 明和6年  | 東大室:下宿に念仏塔が造立された。                                                                         |
|        | 1775 | 安永4年  | 飯土井:『飯土井村明細帳』に、現在の飯土井沼は「鳶堀溜井(かんぼりためい)」と記されている。現在の井手上神社は「鎮守稻荷大明神」と記されている。                  |
| 〈江戸後期〉 | 1783 | 天明3年  | 前橋藩領内各地に打ちこわし騒動が多発し、10月14日今井村の善右衛門(質屋)与八(不詳)の家の住宅や土蔵が破られる。                                |
|        | 1793 | 寛政5年  | 飯土井:飯土井寮が造立された。西大室村の観昌寺の境外施設、後に僧侶の隠居寮として使われ地元の子弟に学問を教えた。                                  |
|        | 1794 | 寛政6年  | 富 田:検地の用具を祀った尺神石祠が造立された。(塩沢健一氏宅地内)                                                        |
|        | 1794 | 寛政6年  | 飯土井:関孝和流算学家 関根宣明氏が生誕した。(万延元年没67歳)                                                         |
|        | 1795 | 寛政7年  | 諸村に郷倉を建てさせる。(今井村御蔵橋近くに屋敷跡、飯土井村天保の絵地図に郷倉が記載されている)                                          |
|        | 1795 | 寛政7年  | 下増田:蓮花院境内に地藏菩薩坐像が造立された。                                                                   |
|        | 1798 | 寛政10年 | 泉 沢:字山崎に二十三夜待の本尊として勢至菩薩が造立された。                                                            |
|        | 1800 | 寛政12  | 二之宮:宮東の東街道沿いに庚申塔と青面金剛塔が造立された。                                                             |
|        | 1801 | 享和1年  | 下大屋:産泰神社が正一位神叙大神宮の勅許を受ける。                                                                 |
|        | 1802 | 享和2年  | 二之宮:南端の新土塚に松井喜傳治が大乘妙典(法華経)を持ち、全国66か所を巡り法華経を納めたことで日本廻国塔を建立した。このころ修験道を修める行者の諸国霊場行脚が盛んだった。   |

| 時代 | 西暦        | 和暦    | 主な出来事                                                                                                             |
|----|-----------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | 1803      | 享和3年  | 泉 沢:北東の字乙谷津に秋葉石殿が造立された。                                                                                           |
|    | 1804      | 文化1年  | 二之宮:二宮大明神に神楽殿が再建された。                                                                                              |
|    | 1804      | 文化1年  | 荒 口:観音寺の境内に信州高遠の石工により石造大黒天が造立された。                                                                                 |
|    | 1805      | 文化2年  | 今 井:今井城の由来を記した文書資料が焼失した。                                                                                          |
|    | 1805      | 文化2年  | 飯土井村と波志江村との間に用水争いが勃発した。飯土井村は地形により村境の神沢川の水が使えず、上流に堰を設けたことにより波志江村との紛争がもつれ幕府の評定所へ訴えたが、両村が納得するような結果は得られずそれは20有余年に及んだ。 |
|    | 1806      | 文化3年  | 二之宮:無量壽寺が焼失した。                                                                                                    |
|    | 1806      | 文化3年頃 | 泉 沢:円明寺に出産・安産・成長を祈願する子安地藏菩薩が造立された。                                                                                |
|    | 1807      | 文化4年  | 飯土井:伏島嘉一氏宅に祭礼子供踊りの許可願い文等の古文書が現存する。                                                                                |
|    | 1808～1818 | 文化年間  | 荒 口:観音寺境内に信州高遠の石工により甲子大黒天が造立された。                                                                                  |
|    | 1814      | 文化11年 | 荒 口:私塾「耕読堂」を開設した阿部耕雲が生誕した。                                                                                        |
|    | 1814      | 文化11年 | 飯土井:飯土井寮(現公民館)に光明真言曼荼羅(まんだら)塔が造立された。                                                                              |
|    | 1816      | 文化13年 | 飯土井:西領飯土井村郷の御蔵御帳が現存する。                                                                                            |
|    | 1818      | 文化8年  | 下大屋:産泰神社境内に盥漱盤(かんそうばん)が造立された。                                                                                     |
|    | 1819      | 文政2年  | 西大室村に国学者、医者として名高い井上正香が生誕した。(明治33年没82歳)                                                                            |
|    | 1820      | 文政3年  | 筑 井:近戸神社境内に雨乞い祈願の石尊大権現灯籠が造立された。                                                                                   |
|    | 1823      | 文政6年  | この年早魃があり、特に飯土井村の被害が甚大だった。(田植えができたのは飯土井で11%、東大室で30%)                                                               |
|    | 1824      | 文政7年  | 上増田:磁石型の道しるべ「べったらぼんぐい」が上増田と下増田の境に造立された。(阿左見善蔵の寄付)                                                                 |
|    | 1829      | 文政12年 | 二之宮:気候案内記を著した内田喜平が生誕した。(気候案内記等著述書は二宮赤城神社へ奉納したという)                                                                 |
|    | 1832      | 天保3年  | 飯土井:石綿常盤が生誕した。(1863年京で医術を修得、明治17年5月内科医術開業免状授与取得、明治39年5月没75歳)                                                      |
|    | 1832      | 天保3年  | 荒 口:前原に双体道祖神が造立された。                                                                                               |
|    | 1832      | 天保3年  | 荒 口:北方の守護神として大道に毘沙門天が造立された。                                                                                       |
|    | 1833      | 天保4年  | 飯土井:修験道行者18名が出羽三山(湯殿山・羽黒山・月山)の記念碑出羽三山塔を造立した。(この年天保の大凶作で、米価は一両で米二斗となる)                                             |
|    | 1833      | 天保4年  | 下大屋:産泰神社の随神門を神主鯉登豊前守藤原豊房が造立した。                                                                                    |
|    | 1842      | 天保13年 | 二之宮:無量壽寺が再建・落慶した。                                                                                                 |

| 時代 | 西暦        | 和暦    | 主な出来事                                                                                                                |
|----|-----------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | 不詳        |       | 新 井:赤城神社に天保のころ社殿が改築され、旗本領主永田与左衛門寄進の扁額が残る。                                                                            |
|    | 1843      | 天保14年 | 飯土井:絵地図が作成される。                                                                                                       |
|    | 1844      | 天保15年 | 二之宮:上之坊の女堀南土手に霊符尊神(北斗星信仰)を祀る石祠を造立した。                                                                                 |
|    | 1846      | 弘文3年  | 今 井:万物を育む「土の神様」として信仰されている大土御祖神碑を造立した。(今井神社参道左側)                                                                      |
|    | 1848～     |       | 荒 口:北原沼底に土砂がたまり浚渫(しゅんせつ)工事(1848～1852)が行われた際の記念碑(倭古堰記)を建立した。石碑の文と書は阿部耕雲の師:岡永松陽による。                                    |
|    | 1853      | 嘉永6年  | 西大室:隣村(下大屋村方面)からの悪霊を防ぐため、村境のささら橋脇に石造勝軍地藏を造立した。                                                                       |
|    | 1854      | 安政1年  | 二之宮:慈照院48世見詔和尚が飯土井村の寺坊に隠居した。飯土井の寺坊跡には出家墓である無縫塔が三基ある。                                                                 |
|    | 1854      | 安政1年  | 初代荒砥村長等になった政治家:岡登喜太が二之宮村に生誕した。                                                                                       |
|    | 1854      | 安政1年  | この頃寺子屋教育が盛んに行われる。(明治45年まで)                                                                                           |
|    | 1855      | 安政2年  | 飯土井:井出上神社に高天原の五神の塔が造立された。                                                                                            |
|    | 1855      | 安政2年  | 二之宮:上野国勢多郡赤城二宮大明神が正一位神叙の宣旨を受ける。                                                                                      |
|    | 1856      | 安政3年  | 飯土井:飯土井神社に歌舞伎舞台を建立した。                                                                                                |
|    | 1857      | 安政4年  | 荒 口:小高い所を開墾していたら鏡、剣、馬具などが見つかり王族貴人を葬ったものと判明したことから、赤城神社に「古塚原碑」を造立した。                                                   |
|    | 1858      | 安政5年  | 上増田:稲荷藤節を創作した久川藤太郎が生誕した。八木節が流行すると稲荷藤節は次第に衰退したが、昭和49年に市重要無形民俗文化財に登録された。                                               |
|    | 不詳        | 江戸後期  | 荒子村に瀬下慶斎が生誕する。馬術、馬の医術、馬の鑑識に秀で、産家門前に井上正香の筆による揮毫の石碑がある。                                                                |
|    | 不詳        | 江戸末期  | 下大屋:天台宗の医楽寺が富田の正法院へ合併になり廃寺となる。                                                                                       |
|    | 1862      | 文久2年  | 荒 口:阿部耕雲は江戸で学問を学び帰郷後は私学「畊讀堂」を開設した。                                                                                   |
|    | 1863～1868 | 文久3年  | 荒 子:荒子塘碑が造立された。碑の撰文(せんぶん)・揮毫(きごう)は阿部耕雲の師・岡永松陽(久留米藩主の待講)で、後に職を辞し気ままな旅に出て耕雲宅の食客となり最後は阿部家により手厚く葬られた。荒子沼は南土手が桜の名所として賑わう。 |
|    | 1864      | 元治1年  | 西大室:字上諏訪の山際にあらゆる疫病から免れるよう「諸厄神」が造立され、その後明治32年にも造立された。                                                                 |
|    | 1868      | 慶応4年  | 3月に政府は「神仏判然令」を出し神仏信仰を分離し神道国教化をめざした。                                                                                  |

| 時代 | 西暦   | 和暦        | 主な出来事                                                                                                                                |
|----|------|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 明治 | 1868 | 慶応4年      | 今井:宝蔵院という寺があったが、無住により筑井村の安養院真福寺へ合寺し廃寺となった。(旧公民館跡)                                                                                    |
|    | 1869 | 明治2年      | 上増田:近戸神社に石造千手観音立像が安置されている。明治政府は慶応4年(1886)に「神仏分離令」を発しているの、後年になってから神社へ移したのであろう。                                                        |
|    | 1869 | 明治2年      | 飯土井:石綿常盤は医師として活動し、鎮守の宮司も務めており、仏式葬儀を神祇式葬祭に変更する旨県庁へ願い出た。                                                                               |
|    | 1871 | 明治4年      | 二宮大明神など地区内の神仏分離が行われ、神社境内から仏教施設などが排除された。政府による「神仏分離令」により全国で実施された。                                                                      |
|    | 1872 | 明治5年      | 神葬祭が許可され地区内に改宗者が出る。                                                                                                                  |
|    | 1872 | 明治5.3.25  | 富田:画家の町田直吉生まれる。雅号玉穂くぎよくすい>昭和9.11月没(63歳)                                                                                              |
|    | 1872 | 明治5.11月   | 群馬県令より、政府の通達をもって路傍の信仰物の撤去命令が出され地区内各所に集められた。これにより従来より行われていた民間信仰の環境が失われた。                                                              |
|    | 1873 | 明治6年      | 上増田:桃中軒雲右衛門が茨城に生まれ、縁あって木村廣吉宅に住んでいた。近くの桃ノ木川原で発声練習をし浪曲師となり、雲衛門節を完成させた。明治42年日本初のレコード吹込み者となり、明治の浪曲中興の祖と称えられた。大塚田の浅間神社境内に石碑がある。大正5年没(44歳) |
|    | 1873 | 明治6年      | 二宮大明神に関係する14村の神社は村社となる。(下大屋村・泉沢村・富田村・荒口村・荒子村・西大室村・東大室村・飯土井村・新井村・二之宮村・今井村・江木村・堤村・東上野村)                                                |
|    | 1873 | 明治6.9.19  | 「政府により「学制」が發布され、荒口の観音寺に「荒口小学校」が開設され10月に開校式が行われた。通学区域は下大屋・泉沢・富田・荒口・荒子・西大室・東大室・飯土井・新井・二之宮・今井・江木・堤・東上野であった。                             |
|    | 1874 | 明治7.2.17  | 二之宮:蚕業功労者の内田源十郎が生まれる。                                                                                                                |
|    | 1874 | 明治7年      | 大小区制行政が行われた。                                                                                                                         |
|    | 1874 | 明治7.2.26  | 増田小が蓮華院を仮校舎として開校した。(第84番小学区)                                                                                                         |
|    | 1874 | 明治7.2.26  | 筑井小が安養院を仮校舎として開校した。(第82番小学区)                                                                                                         |
|    | 1874 | 明治7.12.24 | 二之宮小学校が慈照院を仮校舎として開校した。教員2人生徒31人であった。二之宮と今井の生徒が通学し、明治10年1月より飯土井と新井も加わった。                                                              |
|    | 1875 | 明治8.3.22  | 大室小学校が最善寺に開校した。東大室と西大室の生徒が通学し、開校時50名の児童が在籍した。(第136番小学区)                                                                              |
|    | 1875 | 明治8.4.1   | 駒形郵便局が駒形新田に開設された。                                                                                                                    |
|    | 1876 | 明治9年      | 荒口:画家の阿部霞堂(かどう、本名は正雄)が生まれる。明治35年大阪の研究展覧会に入選、信州善光寺の大広間にある床の間を飾る著名な大作あり。この頃カメラを持っていた。(明治43.10月没35歳)                                    |
|    | 1877 | 明治10.10.5 | 富田:稻荷神社、赤城神社、春日神社が合祀され三柱神社と改称された。                                                                                                    |
|    | 1877 | 明治10年     | 富田:正法院が現在位置に移り無住となっていた阿弥陀寺と合寺した。                                                                                                     |

| 時代 | 西暦   | 和暦         | 主な出来事                                                                                             |
|----|------|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | 1878 | 明治11.7.22  | 群区町村制編成法の施行により南勢多郡が発足し各村が属する。                                                                     |
|    | 1878 | 明治11年      | 荒 口:阿部耕雲の「畊讀堂之碑」を門人たちが建立した。撰文(せんぶん)は耕雲の最後の師で幕府学問所「昌平黌(しょうへいこう)」の林大学頭学斎(徳川幕府の儒宗林大学頭羅山から12代目)である。   |
|    | 1878 | 明治11年      | 荒 子:稲荷神社と諏訪神社の二社が合併し荒子神社と改称した。                                                                    |
|    | 1878 | 明治11年      | 西大室:伊勢山古墳(両袖型横穴式石室)が開口された。                                                                        |
|    | 1878 | 明治11年      | 飯土井村住古の井出上神社は稲荷神社であったが、石綿常盤社司は有志とはかり、往古は井出上神社であったと県庁へ請願し改称した。                                     |
|    | 1878 | 明治11年      | 飯土井村、新井村、二之宮村、今井村の村誌が編纂された。                                                                       |
|    | 1879 | 明治12.9月    | 二之宮小学校慈照院を公立二之宮小学校と改称した。                                                                          |
|    | 1879 | 明治12年      | 富田村の正法院へ登美多小学校が新設された。富田、江木、堤、東上野の生徒が通学した。(のち荒子小の分校となり明治34.7月廃校となる)                                |
|    | 1879 | 明治12.1月    | 大室小学校が校名から第1大学区第17番中学区第136番小学区の二十字を廃止し、公立大室小学校と改称する。                                              |
|    | 1880 | 明治13年      | 今 井:今井神社古墳より高さ30cmほどの宮殿土器(家形埴輪)、人形(人物埴輪)土器数品が出た。                                                  |
|    | 1880 | 明治13.5月    | 荒 子:荒子村川籠替戸(かわかごかいと)へ新校舎が新築され、荒口村観音寺の荒口小学校は閉校となった。                                                |
|    | 1881 | 明治14年      | 今 井:海軍大佐青木国太郎が生まれる(昭和21年没66歳)。                                                                    |
|    | 1883 | 明治16.4月    | 二之宮:二宮大明神の4月15日の例祭に余興をしたいとの願書を群馬県令に提出した控書がある。神楽と流鏑馬が奉納された。                                        |
|    | 1883 | 明治16.9.28  | 二之宮:4月の例祭に警察への無届けで俄狂言(にわかきょうげん)を上演したことが発覚し、伊勢崎警察署より罰金を徴収された。明治政府は国を批判するような芝居を厳しく弾圧したので地域の芸能は衰退した。 |
|    | 1884 | 明治17.5.5   | 上増田:大塚田富士嶽浅間を勧請し石殿が造立された(文部省の認可による)。                                                              |
|    | 1884 | 明治17.7.28  | 戸長配置区域が改められ二之宮村に戸長を置き、飯土井村、新井村、今井村等6村連合となった。連合戸長に内田喜平が就任した。                                       |
|    | 1884 | 明治17年      | 小学校区域の改正により荒子小学校は南勢多郡第9小学校となり、二之宮小学校が第1分校、富田小学校が第2分校となった。大室小学校は深津小学校の分校に指定された。                    |
|    | 1884 | 明治17.12.12 | 二之宮:慈照院が火災により焼失した。                                                                                |
|    | 1884 | 明治17.12.23 | 二之宮小は慈照院の焼失により無量壽寺を仮校舎としたが、児童の増加により明治20年から飯土井寮に分教場を設けた。                                           |
|    | 1884 | 明治17.12    | 筑井小は南勢多郡第8小学校と改称された。                                                                              |

| 時代 | 西暦   | 和暦         | 主な出来事                                                                                                                                                                                                           |
|----|------|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | 1886 | 明治19.2～3月  | 小学校令の改正による校名・学区の変更があり、南勢多郡第9小学校第1分校(二之宮小)が第18番尋常小学校となり、荒子小はその分校となった。第2分校(富田小)は第19番尋常小学校に、第8小学校(筑井小)は第17番尋常小学校となった。深津学校分校(大室小)は第22番尋常小学校の分校となった。                                                                 |
|    | 1886 | 明治19.8.24  | 東大室:大正用水耕地整理組合長として尽力した中沢直次が生まれる。                                                                                                                                                                                |
|    | 1886 | 明治19年      | 下増田:奥原地区に疫病がはやりそれを鎮めるため佐波郡芝根村川合(現玉村町芝根川合)から奥原へ摩利支天尊を勧請した。                                                                                                                                                       |
|    | 1887 | 明治20.3.1   | 第22番尋常小学校分校を分離し西大室尋常小学校と改称した。第17番尋常小学校は筑井尋常小学校と改称した。                                                                                                                                                            |
|    | 1887 | 明治20.6.12  | 二之宮:二之宮駐在所が開所された。                                                                                                                                                                                               |
|    | 1888 | 明治21.8.25  | 荒子:荒砥村誌の著者鹿沼明が生まれる。                                                                                                                                                                                             |
|    | 1888 | 明治21年      | 下増田:北爪源求剣士が生まれる。23歳で赤堀村の本間念流「練武館」より目録を許された。                                                                                                                                                                     |
|    | 1889 | 明治22.2.11  | 明治政府は大日本帝国憲法を發布した。                                                                                                                                                                                              |
|    | 1889 | 明治22.3.4   | 町村制施行により、荒砥村は下大屋・泉沢・富田・荒口・荒子・西大室・東大室・飯土井・新井・二之宮・今井の11大字(村)をもって荒砥村が発足した。初代村長には岡登喜太(二之宮)が就任した。この年11月荒子に村役場がつくられた。<br><br>木瀬村は天川大島・野中・上大島・上長磯・女屋・東上野・下長磯・小島田・小屋原・下大島・筑井・上増田・下増田・駒形新田の14大字(村)をもって発足し、小屋原に村役場がつくられた。 |
|    | 1889 | 明治22.8.21  | 西大室:大室城東(前橋西久保線の端)の双体道祖神が建立された。                                                                                                                                                                                 |
|    | 1889 | 明治22.11.20 | 小屋原:駒形駅が両毛鉄道桐生～前橋間の開通に伴って開設された。                                                                                                                                                                                 |
|    | 1890 | 明治23.4.1   | 町村制施行に伴い第1(荒子)と第2(二之宮)に尋常小学校を置き、深津学校分校(大室小)と富田小(明治34.7月廃校)は分校となる。筑井尋常小学校は木瀬尋常小学校となり、増田小学校は同校の分教場となる。                                                                                                            |
|    | 1890 | 明治23年      | 二之宮:岡登喜太が群馬県会議員に選ばれる。(明治36.9.30没50歳)                                                                                                                                                                            |
|    | 1890 | 明治23年      | 東大室:松野自得が最善寺に生まれる。                                                                                                                                                                                              |
|    | 1891 | 明治24年      | 二之宮:内田喜平が気候案内記を著した。(大正4.5.1没87歳)                                                                                                                                                                                |
|    | 1891 | 明治24.10月   | 荒砥高等小学校が第1尋常小学校(荒子小)に設置された。                                                                                                                                                                                     |
|    | 1892 | 明治25.5月    | 第2尋常小学校(二之宮小)の校舎が現在地に建設され、飯土井の分教場は廃止された。                                                                                                                                                                        |
|    | 1892 | 明治25.10月   | 木瀬尋常小学校が筑井尋常小学校に改称された。                                                                                                                                                                                          |
|    | 1893 | 明治26年      | 二之宮:式三番叟が後世まで存続することを旨とし台詞と舞い方を記し、内田喜平と長吉によって整理されて「式三番叟附伝授書」が作成された。                                                                                                                                              |
|    | 1893 | 明治26.3.21  | 木瀬尋常小学校分教場が増田尋常小学校に改称された。                                                                                                                                                                                       |

| 時代 | 西暦        | 和暦         | 主な出来事                                                                              |
|----|-----------|------------|------------------------------------------------------------------------------------|
|    | 1896      | 明治29.1.1   | 公立大室小学校新築校舎に於いて四方拝の儀式を執行し、新校舎竣工なり1月23日最善寺の仮校舎より移転した。                               |
|    | 1896      | 明治29.4.1   | 郡統合により南勢多郡が勢多郡となる。                                                                 |
|    | 1896      | 明治29年      | 二之宮:勢多郡の郡会に一般議員として岡登喜太が選ばれる。                                                       |
|    | 1896      | 明治29.11.11 | 筑 井:小屋右兵衛が第3代木瀬村長となる。                                                              |
|    | 1896      | 明治29.11.22 | 二之宮:二宮大明神が郷社に昇格、12月8日県告示より神饌帛料(しんせんはくりょう)の供進を受ける。                                  |
|    | 1898      | 明治31.4.12  | 筑井尋常小学校に高等科を併置し、筑井尋常高等小学校と称した。                                                     |
|    | 1899      | 明治32.3.1   | 第1尋常小学校(荒子)と第2尋常小学校(二之宮)に高等科が設置され、第1(荒子)、第2(二之宮)尋常高等小学校と改称した。                      |
|    | 1899～1900 | 明治23～33年   | 飯土井:義太夫が上演された仮名手本忠臣蔵の台本が町に残っている。                                                   |
|    | 1901      | 明治34.3月    | 第2尋常小学校(二之宮小)では学校改築の延期をめぐって140名の児童の欠席があった。郡視学が説得にあたった。                             |
|    | 1901      | 明治34.6.15  | 富 田:大沢喜代七が第2代荒砥村長となる。                                                              |
|    | 1902      | 明治35.4.1   | 筑井農業補習学校が県内初の実業補習学校(8校の1つ)として設置された。その後、荒砥第1、荒砥第2、駒形女子の各実業補習学校も設置された。               |
|    | 1902      | 明治35年      | 二之宮:部落産業組合、無限責任積善信用購買組合がつくられ、組合長に内田政五郎が就任した。                                       |
|    | 1905      | 明治38.6.29  | 荒口:阿部初太が第3代荒砥村長となる。                                                                |
|    | 1905      | 明治38年      | 新 井:日露戦勝記念に草競馬を2回開催したという。                                                          |
|    | 1906      | 明治39.8.20  | 木瀬村大字駒形新田の大字駒形町への改称が認可された。                                                         |
|    | 1906      | 明治39年      | 日露戦争に勝利すると更に国家体制を強化するため勅令により全国地方公共団体へ「神社合祀令」を発令した。                                 |
|    | 1906      | 明治39年      | 二之宮:宮東地区の霊符尊神社は「神社合祀令」を免れるため私有地へ移し、現在は女堀の南土手側に祀られている。                              |
|    | 1907      | 明治40年      | 二之宮:二宮赤城神社は政府の「神社合祀令」により村内の無格社など30数社を合祀した。それぞれの神社の縁故者は二宮赤城神社の祭事の時に特別の役割を果たすようになった。 |
|    | 1907      | 明治40.2.15  | 二之宮:耕地整理がおこなわれた。面積約2ヘクタール、工事費661円22銭8厘、岡新三郎が整理委員長に就任した。                            |
|    | 1907      | 明治40年      | 荒 子:稲荷神社、諏訪神社を合祀し荒子神社に改称した。                                                        |
|    | 1907      | 明治40年      | 日露戦役記念碑が飯土井の井手上神社(揮毫:乃木希典大将)、二之宮の二宮赤城神社(揮毫:乃木希典大将)、今井の今井神社(揮毫:桃江岡寄正雄)に建立された。       |
|    | 1907      | 明治40.8月    | 荒砥第2(二之宮)尋常高等小学校同窓会が発足した。                                                          |

| 時代 | 西暦   | 和暦         | 主な出来事                                                                                                        |
|----|------|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | 1907 | 明治40.12.5  | 二之宮:地芝居で名優といわれた中村十次郎(岡鉄平)は引退興行を行い、神社へ奉額した。幕末から地元の坂東鯉十郎(星野孫八)らと活躍してきた。                                        |
|    | 1907 | 明治40.12月   | 下増田:今宮神社境内末社、稲荷神社、若宮八幡宮(元に戻す)、菅原神社等を合併した。                                                                    |
|    | 1908 | 明治41年      | 今井:「神社合祀令」により小字三木堂の村社赤城神社(祭神は大穴牟遲神(おおなむちのかみ))と境内末社5社を合祀し、その際に村社を天満宮(祭神は菅原道真)に替えて今井神社として古墳上へ移築した。             |
|    | 1908 | 明治41年      | 西大室:村社熊野神社は「神社合祀令」により小社を合祀し大室神社と改称した。                                                                        |
|    | 1908 | 明治41年      | 東大室:「神社合祀令」により点在していた17社を合祀し、近戸神社を大室神社と改称した。                                                                  |
|    | 1909 | 明治42.4月    | 荒砥第3(大室小)尋常小学校が廃止され第1(荒子小)の分教場となった。                                                                          |
|    | 1909 | 明治42年      | 夜学会を小学校に附設し徴兵検査を受ける年令の者を再教育した。                                                                               |
|    | 1909 | 明治42.11.18 | 二之宮:無量壽寺は荒口の朝日山大悲院観音寺が無住になり合寺する。合寺の記念碑が筑波山に建立されている。観音寺より観音の本尊仏の外、重要文化財の地蔵仏と十一面観音仏がこの時移ってきた。資料で無量壽寺の客仏と記している。 |
|    | 1909 | 明治42年      | 飯土井:観昌寺の境外施設であった飯土井寮(現公民館)は江戸時代後期からは僧侶の隠居所となり、僧侶は飯土井の子供達に読み書きを教えた。寺子屋に貢献した3人の僧侶に対して謝意を表し供養するため、3基の石堂が建立された。  |
|    | 1909 | 明治42年      | 飯土井:地芝居があった。費用捻出の戸別取立て帳がある。                                                                                  |
|    | 1910 | 明治43年      | この頃荒砥村全大字に青年団が結成された。                                                                                         |
|    | 1910 | 明治43.1月    | 小屋原:菅原神社他1社を稲荷神社へ合併した。                                                                                       |
|    | 1910 | 明治43.2.16  | 下増田:板垣常三郎が第5代木瀬村長となる。                                                                                        |
|    | 1910 | 明治43.3.25  | 東大室:田中和十郎が第4代荒砥村長となる。                                                                                        |
|    | 1910 | 明治43.5月    | 上増田:「神社合祀令」により近戸神社へ諏訪神社以下10社を合併した。終戦後に地元の人達が熱望し、大塚田の浅間社・諏訪社、宮原の諏訪社は元に戻された。                                   |
|    | 1910 | 明治43.6月    | 筑井:近戸神社境内末社と小島田にあった神明神社他3社を合併した。                                                                             |
|    | 1910 | 明治43年      | 飯土井:有限責任飯土井信用購買生産組合がつくられた。組合長は石綿巖相が就任した(昭和21年没68歳)。                                                          |
|    | 1910 | 明治43.10.5  | 二之宮:荒砥第2尋常高等小学校共進会参観のため全生徒339人が見学旅行をする。                                                                      |
|    | 1911 | 明治44年      | 二之宮:無限責任二之宮信用購買生産組合がつくられた。組合長は岡滝右衛門が就任した。                                                                    |

| 時代 | 西暦   | 和暦            | 主な出来事                                                                                                                      |
|----|------|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 大正 | 1911 | 明治44.1月       | 木瀬村の大字ごとの青年会が合併し木瀬村青年会が設立された。                                                                                              |
|    | 1912 | 明治45年         | 飯土井:石綿常盤は明治39年に帰郷し皇国古医道を生業とし、その後多くの門弟達の報恩の念により石綿常盤の彰徳墓碑が建立された。                                                             |
|    |      | 明治末年<br>～大正初年 | 二之宮:この頃二宮赤城神社には太々御神楽講があった。<br>講の村は玉村・三郷村・赤城村・宮城村・殖蓮村・采女村・茂呂村・木瀬村・大胡村・東村・荒砥村・伊勢崎町・粕川村・桂萱村であった。(これらの太々講村が二宮赤城神社の神楽を支えてきたという) |
|    | ...  | .....         | .....                                                                                                                      |
|    | 1913 | 大正2.4.6       | 各大字の青年会を統一し荒砥青年団を組織結成する。                                                                                                   |
|    | 1913 | 大正2.1.2       | 同窓会主催による裁縫講習会が始まる。(5年間継続された)                                                                                               |
|    | 1914 | 大正3.3.25      | 下大屋:岡田徳太郎が第5代荒砥村長となる。                                                                                                      |
|    | 1914 | 大正3年          | 東大室:字中神沢にあった大室神社を現在地に移した。                                                                                                  |
|    | 1914 | 大正3年          | 下増田:阿久津の細野天神社は両毛線の蒸気機関車の吹き上げる火の粉により消失し再建されなかったが、天神という地名のみ残っている。                                                            |
|    | 1915 | 大正4年          | 大正天皇の御即位を記念し各地の道筋に石造の道しるべが建立された。                                                                                           |
|    | 1915 | 大正4.12.24     | 筑 井:星野磯吉が第6代木瀬村長となる。                                                                                                       |
|    | 1918 | 大正7年          | 二之宮小学校地区の家々に電燈が灯いた。小学校は大正11年1月18日、新井では大正10年12月16日に点灯した。粕川水電株式会社の配電であった。                                                    |
|    | 1920 | 大正9.4.1       | 前橋市街地から天川大島一下大島一駒形を通る街道「江戸道・東京道」が県道前橋館林線に指定された(明治期は三等国道に指定)。                                                               |
|    | 1920 | 大正9.10月       | 木瀬村処女会(女子青年団)が創立された。                                                                                                       |
|    | 1921 | 大正10.8.9      | 荒 子:鹿沼登喜太が第6代荒砥村長となる。                                                                                                      |
|    | 1921 | 大正10.10.26    | 上増田:富士講が三十三度登山した記念碑を富士嶽浅間社へ造立した。                                                                                           |
|    | 1922 | 大正11.1.22     | 荒砥処女会(女子青年会)が結成された。                                                                                                        |
|    | 1922 | 大正11年         | 大字や小字に農事組合が結成され、組合員は1,050人であった。                                                                                            |
|    | 1923 | 大正12.6月       | 飯土井:飯土井沼の畔に堤の竣工を記念する短歌の碑が建立された。「國能(くにの)た免(め)心津久し乃里人出築興免多(のさとびとできとめた)る井出乃堤を」                                                |
|    | 1923 | 大正12年         | 進農会が結成され農事改良進歩に尽くした。この年養豚組合が結成された。組合員は105人であった。大正13年に園芸組合が飯土井と今井に結成された。組合員は100人であった。                                       |
|    | 1923 | 大正12年         | 今 井:篤農家青木源治(俗称は力治)が弟の青木万次郎と大麦を品種改良する。昭和3年に新品種「万力」の作成に成功した。名称は兄弟の名を一字ずつ取ったものである。源治は昭和11年没(80歳)、万次郎は昭和17年没(74歳)。             |
|    | 1924 | 大正13年         | 女子青年の教育のため荒砥村内に実践女学校が附設された。                                                                                                |

| 時代 | 西暦        | 和暦       | 主な出来事                                                                                                                           |
|----|-----------|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 昭和 | 1924～1938 |          | この頃農村不況を克服するため荒砥村では盛んに開墾が行なわれた。〈荒砥村誌〉大正13～昭和3年:12町8畝、昭和4年～昭和13年:101町4反2畝                                                        |
|    | 1925      | 大正14年    | 今 井:今井神社古墳の西北隅から石棺と直刀一振りが発見された。                                                                                                 |
|    | 1925      | 大正14年    | 伊勢崎大胡県道の工事が着工された。                                                                                                               |
|    | 1926      | 大正15.4月  | 青年訓練所令が公布され、荒砥村と木瀬村内の各小学校単位と増田(のちに廃止)に青年訓練所が設けられた。                                                                              |
|    | 1926      | 大正15年    | 県道伊勢崎大胡線が開通した。この県道は荒子の飯島恒治県議会議員の尽力に負うところが大きかったという。                                                                              |
|    | 1926      | 大正15年    | 下増田:北爪源求剣士が邸内に念流「弘武館」を開設、剣道を通し地域の青少年の健全育成に傾注した。                                                                                 |
|    | ...       | .....    | .....                                                                                                                           |
|    | 1927      | 昭和2.5.30 | 第1尋常小学校分校(大室小)のコンクリート校舎が竣工した。                                                                                                   |
|    | 1927      | 昭和2.4.8  | 西大室:前二子古墳、中二子古墳、後二子古墳、小二子古墳の4基が国指定史跡に指定された。                                                                                     |
|    | 1928      | 昭和3年     | 荒 口:観音廃寺境内に子供たちのための鉄棒が造られる。                                                                                                     |
|    | 1928      | 昭和3年     | 二之宮:明治26年に復活した二宮赤城神社の式三番叟はこの年より奉納神事芸能が取りやめとなった。                                                                                 |
|    | 1930      | 昭和5.1.8  | 前橋～荒子間のバス路線が運行開始された。                                                                                                            |
|    | 1931      | 昭和6年     | 富 田:吹地寮(正法院境外施設)に「大通龍」と刻字された石碑が建立された。ある時吹地に疾病が流行したが大泉坊川から龍が現れ病を治したということで吹地の人達が碑を建てた。                                            |
|    | 1931      | 昭和6年     | 県道石山前橋線が開通した。それは中澤直次県議の尽力によるもので、当時は「中澤県道」と称されていた。野中新道が延長され佐波郡赤堀村石山まで現在の国道路線が造られた。それまでは東道(俗に東街道)が前橋方面へ行く道路であった。                  |
|    | 1932      | 昭和7.2月   | 二之宮:明治末年から絶えていた二宮赤城神社の御神楽がこの年復活し「二宮御神楽書記念碑」が境内に建立され、乱れていた舞を本来の里神楽舞に再興したという。                                                     |
|    | 1932      | 昭和7.10.1 | 駒形郵便局で電話交換業務が開始された。                                                                                                             |
|    | 1932～1933 | 昭和7～8年   | 勢多郡連合青年団町村対抗陸上競技会で荒砥青年団が優勝し、その記念碑が建立され現在は城南支所にある。                                                                               |
|    | 1933      | 昭和8.4月   | 増田尋常小学校が駒形尋常小学校に合併となった。                                                                                                         |
|    | 1934      | 昭和9.3.14 | 上増田:中村繁太郎が第8代木瀬村長となる。                                                                                                           |
|    | 1934      | 昭和9.7.5  | 荒砥産業組合が設立された。                                                                                                                   |
|    | 1934      | 昭和9年     | 満州でロシアとの戦争を想定し行われた陸軍特別大演習の際、桐生市で発生した天皇誤道事件の汚名を払拭すべく、群馬県は文化的な事業として県下一斉に古墳の調査を行い『上毛古墳総覧』を刊行した。荒砥村内では大室の3二子をはじめ360基ほどの古墳の所在が掲載された。 |

| 時代 | 西暦   | 和暦         | 主な出来事                                                                           |
|----|------|------------|---------------------------------------------------------------------------------|
|    | 1935 | 昭和10.9月    | 実習補習学校と青年訓練所が合併し、各小学校内に青年学校が発足した(荒砥村第1・第2・第3、木瀬村駒形・筑井・永明)。                      |
|    | 1935 | 昭和10.12.18 | 西大室:群馬県下で古墳の一斉調査が行われ、前二子古墳より出土した四神付飾土器が国認定重要美術品に指定された。                          |
|    | 1936 | 昭和11.2.1   | 二之宮町に荒砥郵便取扱所が開設された。(これ以前の郵便事務の取り扱いは大胡郵便局の所管であった)                                |
|    | 1937 | 昭和12.3.4   | 県道石山・前橋線を中心に大降雹があった。飯土井・二之宮・今井に被害が出た。                                           |
|    | 1937 | 昭和12.9.27  | 西大室:栗原倉吉が第7代荒砥村長となった。                                                           |
|    | 1938 | 昭和13.3.1   | 荒砥郵便局取扱所が荒砥郵便局に昇格した。                                                            |
|    | 1939 | 昭和14.11.12 | 二之宮の荒砥第2尋常高等小学校で学事会主催の国史研究大会があり、この時荒砥郷土史上下二巻を編集頒布した。昭和14年12月5日発行となっている。         |
|    | 1940 | 昭和15.10月   | 前橋・桐生間の県道の舗装工事が完了した。                                                            |
|    | 1941 | 昭和16.4.1   | 小学校が国民学校となり、第1小(荒子)は荒砥村北国民学校、第2小(二之宮)は荒砥村南国民学校、筑井小は木瀬村筑井国民学校、駒形小は木瀬村駒形国民学校となった。 |
|    | 1941 | 昭和16年      | 上増田:地蔵堂の境内に支那事変で戦死した馬の供養のため春彼岸に馬頭観世音塔が建立された。                                    |
|    | 1941 | 昭和16.9.28  | 飯土井:石綿明次郎が第8代荒砥村長となる。昭和32年没(76歳)                                                |
|    | 1943 | 昭和18年      | 上増田:北爪源求剣士は赤堀村の「練武館」本間千代吉館長より念流の免許皆伝を授けられた。                                     |
|    | 1943 | 昭和18.3月    | 荒砥村内青年学校を統合し荒砥青年学校となり9月1日に開校した。                                                 |
|    | 1944 | 昭和19.4.1   | 荒砥産業組合と村農会が合併し荒砥農業会が設立された。                                                      |
|    | 1944 | 昭和19.5.18  | 荒砥村役場庁舎の建物を青年学校教場とし、役場は産業組合内に移転した。                                              |
|    | 1944 | 昭和19.7.21  | 大正用水の起工式が大胡町千貫沼で行われ、受益地農民、学徒勤労奉仕、軍隊などを動員して施行された。(昭和27.3月竣工、昭和53.3月坂東合口第二事業が完成)  |
|    | 1944 | 昭和19.10.10 | 荒砥村忠霊塔の除幕式が行われた。忠霊塔は忠義のために亡くなった戦没者を祭祀するため国家が推進した霊塔であった。                         |
|    | 1944 | 昭和19年      | 東大室:松野自得翁が曹洞宗赤城山最善寺19世の住職になる。翁の句碑は全国各地に54基が建立されており、荒砥地区には7基がある。                 |
|    | 1945 | 昭和20.9.28  | 泉 沢:小沼清高が第9代荒砥村長になる。                                                            |
|    | 1946 | 昭和21.2.10  | 農地改革が始まり、この日を起点として農地改革で小作農地を解放した。これを機会に開墾可能な平地林は農地に代わっていった。                     |

| 時代 | 西暦   | 和暦        | 主な出来事                                                                                                                                                      |
|----|------|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | 1946 | 昭和21.4.28 | 荒砥農業会が解散し、荒砥村農業協同組合が結成された。                                                                                                                                 |
|    | 1947 | 昭和22.4.1  | 新制教育6.3.3.4制の教育が実施され、青年学校と高等小学校に代わる新制中学校として、荒砥村立荒砥中学校、木瀬村立木瀬中学校が開校した。校舎は各小学校の一部を使用した。各国民学校は再び小学校に改称した。荒砥村立北小(荒子)・南小(二之宮)・東小(大室・分校から独立)、木瀬村立筑井小・駒形小・永明小である。 |
|    | 1947 | 昭和22.4.5  | 西大室:萩原熊作が第10代荒砥村長となる。                                                                                                                                      |
|    | 1947 | 昭和22.4.9  | 下増田:北爪喜太郎が第10代木瀬村長となる。                                                                                                                                     |
|    | 1947 | 昭和22.9.1  | 筑井小学校が駒形小学校を合併し(分教場となる)東小学校となった。永明小学校は西小学校となった。                                                                                                            |
|    | 1947 | 昭和22.9.15 | カスリーン台風によって赤城山から流れる荒砥川・桃ノ木川が大氾濫し耕地の埋没、欠壊の大被害が発生した。明治43年の大洪水を上まわるもので特に今井・上増田・下増田の被害が大きかった。当時、日本は連合国軍の占領下であり台風は女性の名前が付けられ、それは昭和27年のサンフランシスコ講和条約の締結まで続いた。     |
|    | 1947 | 昭和22.10.3 | 木瀬村立中学校PTAが結成された。昭和22年以降、国の方針に基づき全国の小中学校でPTAが結成されている。                                                                                                      |
|    | 1948 | 昭和23年     | 小学校の一部を使用していた木瀬村立中学校が旧駒形小学校の校舎を使用して統合された。                                                                                                                  |
|    | 1948 | 昭和23.5.22 | 荒砥村立南小学校PTAが結成された。                                                                                                                                         |
|    | 1948 | 昭和23.5.28 | 大降雹があり特に飯土井の被害が大きかった。                                                                                                                                      |
|    | 1948 | 昭和23.9.15 | アイオン台風による被害が発生し、前年のカスリーン台風と併せ、荒砥川ほか地域内の河川改修工事のきっかけとなった。                                                                                                    |
|    | 1949 | 昭和24.2.16 | 荒砥中学校舎(12教室)が荒子地内に落成した。                                                                                                                                    |
|    | 1949 | 昭和24.5.22 | 荒砥村役場が再び元庁舎に移った。                                                                                                                                           |
|    | 1949 | 昭和24.8.31 | キティ台風の襲来により3年連続の台風被害が発生した。                                                                                                                                 |
|    | 1951 | 昭和26.9.1  | 下増田:下増田駅が無人駅として新設された。(下増田住民からの要望・寄付あり)                                                                                                                     |
|    | 1952 | 昭和27年4月   | 木瀬村立東小学校(筑井小)から駒形分教場が独立し南小学校となった。                                                                                                                          |
|    | 1952 | 昭和27年     | 木瀬村立中学校の新校舎が小屋原町に落成、移転した。                                                                                                                                  |
|    | 1953 | 昭和28.3月   | 荒砥村立南小学校(二之宮)の校舎が新築された。                                                                                                                                    |
|    | 1953 | 昭和28.3.28 | 大正用水土地改良区事業が完成した。受益面積は24数百歩といわれている。(中沢直次翁顕彰碑)                                                                                                              |
|    | 1953 | 昭和28.5.8  | 前橋・桐生間の県道が2級国道122号前橋水戸線に指定される。                                                                                                                             |

| 時代 | 西暦   | 和暦         | 主な出来事                                                                                                                                  |
|----|------|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | 1953 | 昭和28.12.28 | 二之宮:二宮赤城神社の社殿を建立した。合祀された大山祇神社境内跡の大樺(樹齢は約700年と伝わる)や二宮赤城神社境内の杉を伐採し売却したので、氏子の費用負担はなかった。                                                   |
|    | 1955 | 昭和30.2月    | 二之宮:大山祇神社境内跡にあった大樺の鎮魂碑が建立された。                                                                                                          |
|    | 1955 | 昭和30.2月末   | 今 井:カスリーン台風による水害復旧耕地整理の記念碑が建立された。受益面積は約15.5ヘクタールとなった。                                                                                  |
|    | 1955 | 昭和30.4.1   | 木瀬村の一部(6大字:天川大島・野中・上大島・上長磯・女屋・東上野)が前橋市に編入された。西小学校は前橋市立永明小学校となった。                                                                       |
|    | 1955 | 昭和30.4.15  | 二之宮:二宮赤城神社の竣工祝賀会は例大祭と併せ挙行された。                                                                                                          |
|    | 1955 | 昭和30年      | 荒 口:公民館敷地内に昭和22年のカスリン台風の水害復興記念碑が建立された。                                                                                                 |
|    | 1955 | 昭和30.4月    | 二之宮東部土地改良事業が行われた。                                                                                                                      |
|    | 1955 | 昭和30.4.30  | 飯土井:伏島正一が第11代荒砥村長となる。                                                                                                                  |
|    | 1956 | 昭和31.4.25  | 中沢直次の顕彰碑(群馬県知事北野重雄氏書)が荒子の荒砥村役場内に建立され、現在は城南支所に移されている。                                                                                   |
|    | 1956 | 昭和31.5.13  | 下増田:カスリーン台風による荒砥川河川改修記念碑が建立された。                                                                                                        |
|    | 1957 | 昭和32.1.20  | 荒砥村と木瀬村の一部(9大字:下長磯・小島田・下大島・筑井・小屋原・上増田・下増田・東駒形・駒形)が合併し城南村が設立された。役場は両旧役場を使用した。各小学校は所在地(荒子・二之宮・大室・筑井・駒形)を校名とし、荒砥中学校は東中学校、木瀬中学校は西中学校に改称した。 |
|    | 1957 | 昭和32年      | 城南村初代村長に榛沢喜一郎が就任した。                                                                                                                    |
|    | 1957 | 昭和32.10.10 | 城南村の一部(2大字:下長磯・小島田)が前橋市に編入された。                                                                                                         |
|    | 1958 | 昭和33.3.30  | 勢多郡誌が郡制廃止37年目にして完成し、勢多郡誌刊行委員会から刊行された。                                                                                                  |
|    | 1958 | 昭和33年      | 前橋市に編入された区域の生徒を対象として、前橋市立永明中学校が発足した。                                                                                                   |
|    | 1958 | 昭和33年      | 二之宮:この頃二之宮式三番叟保存会が再結成され中絶していた神事芸能を復興した。                                                                                                |
|    | 1958 | 昭和33.9月    | 二之宮:無量壽寺に筑波葦池開田記念碑が建った。昭和31年土地改良区開田計画ができたおり開田した。                                                                                       |
|    | 1958 | 昭和33.9.11  | 荒砥郵便局が城南郵便局と改称された。                                                                                                                     |
|    | 1959 | 昭和34.5.3   | 広島市西区三滝山寺境内に松野自得の句碑が建立された。                                                                                                             |
|    | 1960 | 昭和35.4.1   | 城南村の一部(2大字:東駒形・駒形)が前橋市に編入された。駒形小学校は前橋市立駒形小学校となった。                                                                                      |
|    | 1960 | 昭和35.4.17  | 荒砥村婦人会と木瀬地区婦人会が合併した城南村婦人会の創立総会が二之宮小学校で開催された。前橋市合併後は東城南地区婦人会に名称変更した。                                                                    |

| 時代 | 西暦        | 和暦         | 主な出来事                                                                                     |
|----|-----------|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | 1960      | 昭和35.10.31 | 城南村役場が現在地(二之宮町1320-1)に竣工した。合併により争議もあったが、穏やかな村となるよう松野自得の「人の一生いつも木乃芽のふ久ように」という句碑が建立された。     |
|    | 1962      | 昭和37.4.29  | 二之宮:御神楽記念碑が二宮赤城神社境内に建立された。                                                                |
|    | 1963      | 昭和38.4.1   | 2級国道122号前橋水戸線は1級国道50号に昇格する。                                                               |
|    | 1963      | 昭和38.4.1   | 城南村立西中学校と前橋市立永明中学校が合併し、学校組合立木瀬中学校となった。                                                    |
|    | 1963      | 昭和38.4.1   | 城南村農事放送農業協同組合(役場内、のちの前橋市東部有線放送協同組合)が有線放送電話の業務を開始した。                                       |
|    | 1963      | 昭和38.12.8  | 二之宮:二宮赤城神社本地仏の千手観音座像を慈照院へ移転し、慈照院本堂が79年目に再建され落慶法会を行った。                                     |
|    | 1964      | 昭和39.4.10  | 飯土井:開田記念碑が猫山に建てられた。受益面積は約17ヘクタール。その後記念碑は井出上神社境内に移転した。                                     |
|    | 1965      | 昭和40年4月    | 筑井小学校の新校舎が落成した。                                                                           |
|    | 1965      | 昭和40.4.1   | 道路法改正により国道等級が無くなり一般国道50号となる。                                                              |
|    | 1965      | 昭和40年      | 下増田:弘武館本間念流邸内に北爪源求先生の頌徳碑が建立される。(昭和44年没82歳)                                                |
|    | 1966      | 昭和41.4.1   | 城南村南保育所(木瀬保育所)が設立された。                                                                     |
|    | 1967      | 昭和42.5.1   | 城南村が前橋市へ編入され、城南村役場が城南支所となった(16町)。各小中学校は前橋市立の小中学校となった。東中学校は荒砥中学校に、学校組合立木瀬中学校は市立木瀬中学校に改称した。 |
|    | 1968      | 昭和43.4.1   | 二之宮:二之宮保育園(慈照院)が創設された。                                                                    |
|    | 1968      | 昭和43.20.1  | 下増田:両毛線前橋～小山間の電化に伴い下増田駅が営業停止となった。                                                         |
|    | 1969      | 昭和44.5.6   | 二之宮:二宮赤城神社の納曾利面が県指定重要文化財に登録された。                                                           |
|    | 1970      | 昭和45.2.10  | 二之宮:二宮赤城神社に伝わる二之宮の式三番叟並びに附伝授書が市指定重要有形民俗文化財に登録された。                                         |
|    | 1970      | 昭和45.3.31  | 駒形・城南郵便局の電話交換業務が廃止され自動改式(ダイヤル式)となった。                                                      |
|    | 1970      | 昭和45.8.5   | 今 井:今井神社の観音堂が落雷で午後10時20分ごろ全焼した。                                                           |
|    | 1970～1971 | 昭和45～46    | 二之宮小学校区域南部に農免道路(下飯土井～上増田)が1期・2期の工事に分けられ建設された。                                             |
|    | 1971      | 昭和46.1.26  | 新 井:小字十二天地区は行政区の変更により二之宮への編入が市議会で議決された。このころ地区内の所属調整地番変更等、行政整理があった。                        |
|    | 1971      | 昭和46.4.19  | 駒形郵便局が下大島町に移転し、前橋東郵便局と改称した。                                                               |

| 時代 | 西暦        | 和暦         | 主な出来事                                                                         |
|----|-----------|------------|-------------------------------------------------------------------------------|
|    | 1972      | 昭和47年3月    | 二之宮:二宮赤城神社の神御衣祭(かむみそさい)という神事が行われた。御神体の衣を着せ替える神事は60年ごとの壬子(みずのえね)の年に行われる。       |
|    | 1972      | 昭和47.3.12  | 大室小学校学制百年を記念し最善寺の松野自得住職の句碑が造立された。「埴輪春 大室は神の 住まいし地」                            |
|    | 1973      | 昭和48.9.24  | 下大屋:産泰神社の太々神楽が市指定重要無形民俗文化財に登録された。                                             |
|    | 1973      | 昭和48.12.1  | 荒 子:前橋農協荒砥支所で小沼弥藤次の顕彰碑の除幕式が行われた。(松野自得住職の俳句の碑)                                 |
|    | 1973～1981 |            | 荒砥南部圃場整備事業(耕地整理)があり、事前に遺跡の発掘調査が実施された。                                         |
|    | 1974      | 昭和49年      | 二之宮:二宮赤城神社の式三番叟保存会では式三番叟伝授書を今の人に読めるよう新しく編纂した。                                 |
|    | 1974      | 昭和49年2月    | 筑井小学校開校百周年記念事業が行われ、校旗が制定された。                                                  |
|    | 1974      | 昭和49.5.30  | 荒砥村元助役鹿沼明著「荒砥村誌」が荒砥村誌刊行委員会より刊行された。                                            |
|    | 1974      | 昭和49.7.15  | 前橋東郵便局が城南郵便局と統合し普通郵便局となった。旧城南郵便局は特定郵便局の前橋二之宮郵便局となった。                          |
|    | 1974      | 昭和49.8.26  | 下大屋:産泰神社の八稜鏡(はちりょうきょう)が市指定重要文化財に指定された。平安時代の作と考えられ、以前に氏子によって奉納されたという。          |
|    | 1974      | 昭和49.8.26  | 稲荷藤節(上増田出身の久川藤太郎があみだし泉沢で受け継がれる)が市指定重要無形民俗文化財に指定された。                           |
|    | 1974      | 昭和49.8.26  | 泉沢:泉沢の獅子舞が市指定重要無形文化財に登録された。                                                   |
|    | 1974      | 昭和49.12.24 | 二之宮小学校創立百周年を祝う記念事業と式典が行われ「百年のあゆみ」が発行された。                                      |
|    | 1975      | 昭和50.3.30  | 昭和49年に県教育委員会が調査した『前橋市城南地区の民俗』が編集され、県民俗調査報告書第17集として刊行された。                      |
|    | 1975      | 昭和50.12.24 | 二之宮:二宮赤城神社の梵鐘、絵馬4枚、慈照院の千手観音菩薩坐像、無量壽寺の地藏菩薩立像・十一面観音菩薩立像が市指定重要文化財に登録された。         |
|    | 1976      | 昭和51.6.5   | 二之宮:無量壽寺が落雷で午後5時20分ごろ焼失した。                                                    |
|    | 1977      | 昭和52.4.1   | 城南支所敷地内に消防署東分署城南出張所が開設された。                                                    |
|    | 1978      | 昭和53.10.13 | 小屋原:アメリカンボード宣教師館が明治時代の洋風住宅建造物として県指定重要文化財に登録された。                               |
|    | 1978      | 昭和53.12.8  | 二之宮小学校PTA30周年記念式典が行われた。                                                       |
|    | 1979      | 昭和54.4月    | 上増田:桃中軒雲右衛門の顕彰碑が上増田町大塚田の浅間神社境内に建立された。幼少の頃にこの地の木村廣吉宅に寄宿しており、後に明治の浪曲界中興の祖といわれた。 |
|    | 1979      | 昭和54年      | 飯土井・西大室・東大室地内の土地改良事業に伴い初めて女堀の発掘調査が行われた。                                       |

| 時代 | 西暦   | 和暦        | 主な出来事                                                                                                                                                                                                    |
|----|------|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | 1980 | 昭和55.10.1 | 前橋東警察署の新設に伴い、城南地区も管轄区域となった。                                                                                                                                                                              |
|    | 1980 | 昭和55年11月  | 筑井小学校で北校舎改築の落成式が行われた。                                                                                                                                                                                    |
|    | 1980 | 昭和55年     | 今 井:今井神社古墳で前方後円墳の周溝部分を市教育委員会が調査した。                                                                                                                                                                       |
|    | 1981 | 昭和56.4.27 | 今 井:今井神社古墳が市指定史跡に登録された。                                                                                                                                                                                  |
|    | 1982 | 昭和57年     | 荒 子:昭和57年度の荒砥北部圃場整備事業に伴い、(財)県埋蔵文化財調査事業団により発掘調査された荒砥荒子遺跡は、豪族の居館跡と考察されている。                                                                                                                                 |
|    | 1983 | 昭和58.2.24 | 二之宮小学校で鉄筋コンクリート造りの新校舎が完工し落成式が行われた。                                                                                                                                                                       |
|    | 1983 | 昭和58.4.25 | 二之宮:二宮赤城神社境内の宝塔が市指定重要文化財に登録された。                                                                                                                                                                          |
|    | 1983 | 昭和58年     | 今 井:集落センターと土地改良竣工記念碑(7月21日・清水一郎知事揮毫)が建てられた。                                                                                                                                                              |
|    | 1983 | 昭和58年     | 上武国道の二之宮小学校地区内起工で昭和59年度実施が内定した。                                                                                                                                                                          |
|    | 1983 | 昭和58年     | 富田・二之宮・荒子・飯土井・西大室・東大室の女堀遺跡が国指定史跡に登録された。                                                                                                                                                                  |
|    | 1983 | 昭和58年     | 西大室:小峰佐五右衛門の業績を後世に伝えるため、「報恩之碑」が御料沼の畔に建立された。                                                                                                                                                              |
|    | 1983 | 昭和58.4.25 | 二之宮:二宮赤城神社の宝塔が市指定重要文化財に登録された。                                                                                                                                                                            |
|    | 1983 | 昭和58.10.5 | あかぎ国体秋季大会が始まり、総合運動公園がテニスの会場となった。                                                                                                                                                                         |
|    | 1984 | 昭和59.3.12 | 二之宮:二宮赤城神社の社地が市指定史跡に登録された。                                                                                                                                                                               |
|    | 1984 | 昭和59.3.12 | 東大室:最善寺に安置されている供養塔は、多田山の普蔵寺に康正元年(1455)11月に造立された。しかし天正年間(1573～1591)の兵火により焼失し、江戸時代後期に廃寺となった。昭和26年に地元の人達により最善寺へ移され、昭和59年に市指定重要文化財に登録された。                                                                    |
|    | 1985 | 昭和60.3.27 | 飯土井:旧関根家の赤城型民家が市指定重要文化財に登録され、現在は大室公園へ移築されている。                                                                                                                                                            |
|    | 1985 | 昭和60.3.27 | 下大屋:県営圃場整備事業に伴う上西原遺跡の発掘調査により、産泰十字路の北西地区から竪穴式住居80軒余りの掘立柱建物、井戸溝、窯、小鍛冶などの遺構が検出された。周辺から文字を押印した瓦、塑像、銅製飾金具、緑釉陶器100点余りの鉄釘や瓦塔竪穴式住居から奈良三釉の小壺や古手の灰釉陶器、文字の書かれた墨書、土器が100数点出土した。方形区画や周囲に堀を備えていることから、勢多郡衙の可能性が考察されている。 |
|    | 1986 | 昭和61年     | 木瀬中学校の新校舎落成式が行われた(市内最後の木造校舎が解体された)。                                                                                                                                                                      |
|    | 1986 | 昭和61.6.6  | 富 田:荒砥川右岸の台地字稻荷前にある稻荷山古墳上に所在する宝塔が市指定重要文化財に登録された。                                                                                                                                                         |
|    | 1988 | 昭和63.4.1  | 共愛学園女子短期大学が小屋原町に開学した。                                                                                                                                                                                    |

| 時代 | 西暦   | 和暦         | 主な出来事                                                                                                             |
|----|------|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成 | 1989 | 平成1.3.3    | 上武道路が飯土井町の伊勢崎市境から今井町の国道50号までの間を暫定2車線で開通した。                                                                        |
|    | 1989 | 平成1.4月     | 山崎学園の群馬調理師専門学校と東日本デザイン専門学校が小屋原町に移転した。                                                                             |
|    | 1990 | 平成2.4.1    | 学校法人朋学舎の国際コンピュータ専門学校が小屋原町に移転開校した(のちに東日本デザイン専門学校へ統合)。                                                              |
|    | 1991 | 平成3年       | 西大室:荒砥富士山古墳が県営圃場整備事業に伴い県教育委員会によって発掘調査された。(遺物:鉄鍬・土師器・須恵器・銅鉤)                                                       |
|    | 1991 | 平成3.4.1    | 前橋工業団地造成組合が造成した住宅団地(荒口町・荒子町の一部)が「鶴が谷町」として独立し、城南地区は17町となった。                                                        |
|    | 1992 | 平成4.6.12   | 前橋市有線放送農業組合(前橋市東部有線放送農業組合が合併)の解散が認可された。                                                                           |
|    | 1993 | 平成5.3.24   | 小屋原駐在所が駒形交番に統合され、筑井町・小屋原町・上増田町・下増田町が駒形交番の受持区域となる。                                                                 |
|    | 1993 | 平成5.4.8    | 前橋～二之宮間の路線バスが廃止となり、前橋市の代替バスが前橋公園～東大室間で運行が開始された。                                                                   |
|    | 1993 | 平成5.4.16   | 西大室:観昌寺の宝塔が市指定重要文化財に登録された。                                                                                        |
|    | 1993 | 平成5.4.16   | 二之宮:二宮赤城神社の御神幸(ごじんこう)が市指定重要無形民俗文化財に登録された。                                                                         |
|    | 1994 | 平成6.2月     | 筑井小学校開校百二十周年記念式典が行われた。                                                                                            |
|    | 1994 | 平成6.3.25   | 下大屋:産泰神社の本殿・幣殿・拝殿・神門及び境内が県指定重要文化財に登録された。                                                                          |
|    | 1994 | 平成6.4.19   | 泉 沢:浄瑠璃人形が「泉沢の人形附小道具一括」として市指定重要有形民俗文化財に登録された。                                                                     |
|    | 1995 | 平成7年5月     | 上増田:昭和49年に市指定重要無形民俗文化財に指定された稲荷藤節を創作した久川藤太郎宅に、発祥の記念碑が建立された。                                                        |
|    | 1997 | 平成9.1.24   | 城南支所・城南公民館の新庁舎が完成し落成式が行われた。                                                                                       |
|    | 1997 | 平成9.3.28   | 西大室:荒砥富士山古墳が県指定史跡に登録された。                                                                                          |
|    | 1998 | 平成10.4.10  | 西大室:公民館のオハツキイチョウが市指定天然記念物に登録された。                                                                                  |
|    | 2000 | 平成12.4.14  | 飯土井:井出上神社参道左脇の樹齢300年のシイが市指定天然記念物に登録された。                                                                           |
|    | 2000 | 平成12.11.28 | 下増田:奥原の摩利支天尊の勧請百拾周年記念の石碑が建立された。                                                                                   |
|    | 2000 | 平成12年      | 小屋原:共愛学園の小屋原町への移転により旧アメリカンボード宣教師館も移転された。宣教師館は明治25年(1892)宣教師の住宅として建築され、県内で唯一現存する明治時代の洋風住宅として、昭和53年に県指定重要文化財に指定された。 |

| 時代  | 西暦    | 和暦        | 主な出来事                                                                                                    |
|-----|-------|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | 2005  | 平成17.3.20 | 上武道路が今井町の国道50号から富田町の藤岡大胡線までの間を暫定2車線で開通した。                                                                |
|     | 2008  | 平成20.4.1  | 下大島町が永明地区へ所属替えとなり城南地区は16町となった。                                                                           |
|     | 2008  | 平成20.6.22 | 上武道路が富田町の藤岡大胡線から上泉町までの間を暫定2車線で開通した。                                                                      |
|     | 2009  | 平成21.3.24 | 二之宮:二宮赤城神社の太々神楽が市指定重要無形文化財に登録された。                                                                        |
|     | 2010  | 平成22.3.15 | 荒 子:荒子杉山古墳が市指定史跡に登録された。                                                                                  |
|     | 2011  | 平成23.3.9  | 北関東自動車道が全線開通した。関越自動車道の高崎ジャンクションから栃木県を經由し、茨城県の水戸市に至る北関東を横断する高速自動車道である。本地域の新井町・二之宮町・下増田町・上増田町・小屋原町を通過している。 |
|     | 2011  | 平成23.3.29 | 西大室:大室公園のコナラが市指定天然記念物に登録された。                                                                             |
|     | 2019  | 平成31.2.27 | 消防局南消防署城南分署が新庁舎へ移転した。                                                                                    |
| ... | ..... | .....     | .....                                                                                                    |
| 令和  | 2020  | 令和2.4.1   | 下増田町が永明地区へ所属替えとなり城南地区は15町となった。                                                                           |
|     | 2024  | 令和6.3.25  | 上武道路の今井町から富田町間が4車線化され、城南地区内の区間全てが4車線化した。同時に国道50号今井町交差点の移設拡幅が行われ、関連して城南支所の駐車場再整備が実施された。                   |